

令和6年度 広島大学光り輝き入試 総合型選抜

小論文問題

工学部 第四類 (建設・環境系)

実施期日 : 令和5年11月18日(土)

試験時間 : 9時30分 ~ 11時30分

注意事項

1. 問題冊子は表紙を含めて2枚, 解答用紙は4枚, 下書き用紙は4枚です。
2. 解答用紙及び下書き用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
3. 問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。
4. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。

問題 1

東日本大震災では改めて津波の脅威が認識され、それ以降、防災施設の整備が各所で計画されました。しかし、災害から人命や街を守るためには建設が必要であるとの意見がある一方、自然豊かな景観を台無しにするなど、建設に反対する意見も少なくありません。以下の問いに対して、建設・環境系の分野の技術者として、あなたの考えを記述してください。

- ① 津波に対するハード面の対策は、どうあるべきと考えますか。300～400字で記述してください。
- ② 津波に対する対策は、ハード面のみでは決して十分とは言えません。ソフト面としてどのような対策が必要と考えますか。300～400字で記述してください。

問題 2

近年急速に発展している人工知能（AI）技術は、様々な分野で利活用が進んでおり、ChatGPTのような生成系 AI も身近に利用できるようになってきました。しかし、最新の AI 技術にも制約・問題点があり、どのような課題にも適用できるわけではない上に、判断の根拠がわからないというブラックボックスであることが知られています。これらを踏まえて、以下の問いに答えてください。

- ① 建設・環境系の分野において、AI 技術の適用を考えた場合、どのような利活用方法が考えられますか。300～400字で記述してください。
- ② ①で解答した AI 技術の利活用方法に伴い、どのような制約・問題点が発生すると考えられますか。また、それに対してどのような対応・対策が必要と考えますか。300～400字で記述してください。